

AV ニュース エクスプレス

2001年教育映像祭「優秀映像教材選奨」に201作品が参加
 オンライン学習のための総合展示会「e-Learning World 2001」開催
 日本教育新聞社「全国総合的学習セミナー」開催
 NIME「教材研究ワークショップ—メディア教育入門—」
 松下視聴覚教育研究財団「平成13年度デジタルプレゼンテーションⅢ研修会」
 東京教育工学研究会—第32回教育工学研究セミナー・全国大会
 「第39回日本産業映画・ビデオコンクール」入賞作品

協会情報

■2001年教育映像祭「優秀映像教材選奨」に201作品が参加

日本視聴覚教育協会では、毎年教育映画、ビデオ、スライド、コンピュータソフトウェア（CD-ROM）の映像教材の製作振興と利用の向上進展を図る目的で、標記選奨を開催している。今年度の部門別参加作品数は次のとおり。（ ）内は前年。

映画の部 12社・39作品
 学校教育部門 12作品（13）
 小学校向け 10作品
 中学校向け 2作品
 高等学校向け 0作品
 社会教育部門 11作品（13）
 職能教育部門 4作品（3）
 教養部門 5作品（8）
 児童劇・動画部門 7作品（6）
 ビデオの部（スライドを含む）
 36社・138作品

学校教育部門 58作品（64）
 小学校向け 24作品
 中学校向け 25作品
 高等学校向け 9作品
 社会教育部門 31作品（30）
 家庭生活 5作品
 市民生活 26作品
 職能教育部門 31作品（24）
 教養部門 18作品（20）
 CD-ROMの部 9社・24作品
 学校教育部門 20作品（16）
 小学校向け 10作品
 中学校向け 9作品
 高等学校向け 1作品
 社会・職能・教養部門 4作品

AV情報

■オンライン学習のための総合展示会「e-Learning World 2001」開催

e-Learningとは、インターネットなど情報技術（IT）を活用

した教育研修のこと。「e-Learning World 2001」実行委員会（委員長・電通大岡本敏雄教授）では、7月26～28日の3日間、この注目されるe-Learningに関わる製品、情報を一堂に会した専門展を日本で初めて開催する。個人ベースで学習が可能なこのシステムは、企業内教育、学校教育、生涯学習など、さまざまな分野での新しい学習システムとして大きな注目を浴びている。

- 1・会場 東京ビッグサイト
- 2・入場料
1,000円（事前登録者、招待券持参者は無料）
- 3・出展品目
遠隔教育システム・WBTソフトウェア、コンテンツ開発・各種PC・サーバ機器などのハードウェア
- 4・内容

ブックレビュー



「近代初等学校における 教育コミュニケーション活動 校内放送 30年史」

土橋美歩著

学芸図書 2001年5月刊

A5判 223頁 2,600円(税別)

校内放送はわが国の学校教育の中でも、現場の教師と子どもたちによって創られ育てられてきた数少ない教育活動の一つと言ってよい。しかも、最近では情報教育とのかかわりから新たな期待や役割が検討されつつある。

本書は、自らも校内放送の実践者であり、研究者の一人でもある著者が、校内放送を学校教育における教育コミュニケーション活動と位置づけ、その誕生から30年にわたる歩みを客観的に整理し、まとめた、わが国唯一の単行本であり労作でもある。

また、本書は別な側面からみると、校内放送という学校現場から発想された個性的な教育活動が、どんな歴史的な経緯をたどって学校教育の中に市民権を獲得することができたのか。

広く関連機器の開発者等も含

め、校内放送の進展にかかわったすべての人々や機関等による、先駆者としての歩みの史的総括と位置づけることもできよう。

なお、これらの内容を10章で構成した本書の史的記述の特色は、校内放送の誕生から進展過程での動向や特筆事象を多面的に取りあげると共に、その背景にある当時の社会情勢、教育思潮、教育行政、学校や教師の教育観、さらにはNHK学校放送や放送関連機器の開発等々とのかかわりの中で追求し、その意味や焦点を明確にしていることである。

また、そのための資料収集に当たっては多年にわたり足で稼いできた著者の地道な努力と、校内放送をこよなく愛してやまない著者の心意気が本書の誕生に結びついたであろうことも付記したい。

(岸本 唯博)

基調講演 = IT関連施策と教育 / e-Learningによる科学技術・理科教育について / 教育効果を追求したe-Learningコンテンツとは / 新学習指導要領の中における情報教育

ワークショップ = e-Learningの問題点を解決し成功へ導く“ライブe-Learning” / 大学のIT推進はここから始まる / IT教育におけるe-Learningソリューション他

5・問い合わせ

(株)シー・エヌ・ティ 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2-2 大森ビル4F 電話 03-5297-8855 <http://www.cnt-inc.co.jp>

■日本教育新聞社「全国総合的学習セミナー」開催

日本教育新聞社では、夏休みを利用して「総合的な学習の時

間」において必要とされる地域との連携を学校と企業が同じ舞台で話し合うことを目的とした標記セミナーを開催する。同時に「総合的な学習の時間」の実践と共に学校・企業・地域をテーマにした内容のセミナーも実施する。

1・期日 7月30日(月)・31日(火)

2・会場 東京ビッグサイト

3・内容

基調講演「地域の協力を得たこれからの学校教育」富岡賢治氏(国立教育政策研究所所長)

環境教育「地域連携から生まれる環境教育カリキュラムづくり」 / 情報教育「総合的な学習における地域連携と情報教育の進め方」

パネルディスカッション「川の学習を生かした総合的な学習の時間の進め方」他

総括・基調講演 = 村川雅弘氏(鳴門教育大学教授)

4・問い合わせ

日本教育新聞社総合的学習セミナー事務局 電話 03-3461-3588 <http://www.kyoiku-press.co.jp/>

研究会情報

■NIME「教材研究ワークショップ—メディア教育入門—」

メディア教育開発センター(NIME)では、イギリスの公開大学(OU)と英国映画機関(BFI)が共同で開発した『メディア教育入門』(Media Education: An Introduction, 1992)を対象にワークショップを開催する。これは、メディア(特にテレビや映画などのマスメディア)について、青少年が批判的に受容することをねらうカ

ブックレビュー



「パソコンで楽しい総合学習 1 アニメをつくろう」他全7巻
 苅宿俊文著・つだかつみ他絵
 信成社 2001年3月刊
 A4変型判 各巻32頁 揃価格
 20,000円(税別)

小学校の図書館向けの本として刊行されたものである。7巻からなるシリーズで、次のような構成になっている。

- 第1巻 アニメをつくろう
- 第2巻 地図をつくろう
- 第3巻 発表しよう
- 第4巻 辞典をつくろう
- 第5巻 絵をかこう
- 第6巻 音楽をつくろう
- 第7巻 コンピュータと子どもの学び～自分らしさに出会える授業づくり～

各巻の内容は、著者が東京都港区立神応小学校における実践を再構成した形で、紹介されている。

第1～6巻はその苅宿実践が絵本の形でまとめられている部分である。

各ページには「苅宿先生のつづやき」「先生方へ」というコーナーもあり、活動の流れに沿った解説がされている。また巻末には、コンピュータを「総合学習」に利用するときの具体的な指針が示されている。

第7巻は、コンピュータを学習の道具として用いることに関する、著者の考えをまとめたものである。

本シリーズで紹介されている活動の底に流れている学習観がわかりやすくまとめられている。

この第7巻にはCD-ROMが付属しており、各巻の活動を体験できるようになっている。

本シリーズをきっかけに、「総合的な学習の時間」における学びがさまざまな形で展開していくことを期待したい。

(土橋 永一)

リキュラムのための、教師教育用の教材。総務省(旧郵政省)の「放送分野における青少年とメディアリテラシーに関する研究会報告書」でも参照されている。マスコミュニケーション研究、メディア研究、あるいは教師教育(社会、国語、英語、美術等)を担当し、メディア教育に関心がある方が対象。

1・日時 9月5日(水)10:45～16:00

2・場所

大学共同利用機関・メディア教育開発センター(千葉市美浜区)

3・定員 15名

4・応募期間 7月16日(月)～8月1日(水)

5・担当講師

メディア教育開発センター教授・佐賀啓男氏、同助教授・広瀬洋子氏、総務省放送政策課課長補佐・中西悦子氏

6・申し込み先

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-12 メディア教育開発センター事業部ネットワーク課研修企画係 電話043-298-3107
<http://www.nime.ac.jp/saga/kenshu/mediaed.html>

■松下視聴覚教育研究財団「平成13年度デジタルプレゼンテーションⅢ研修会」

(財)松下視聴覚教育研究財団では、児童、生徒がより深く考え、また興味関心を持てるようなプレゼンテーション技法を習得するために、ノンリニアビデオ編集、OCRやデジタルカメラのデータの加工、編集、音声の取り込みと貼り付け、加工、編集、MP3への変換等を学ぶ研修会を開催する。

1・日時

8月17日(金)・18日(土)

9:30～17:00

2・会場

東京生命芝ビル(東京都港区芝)

3・対象

授業にコンピュータを活用したいと考えている小、中、高校の教職員、教育機関関係者

4・講師

坂井岳志氏(東京都世田谷区立千歳小学校教諭)、工藤哲士氏(同足立区立千寿第四小学校教諭)、臼田三知永氏(東京都立蒲田高等学校教諭)

5・参加料

7,000円(昼食代、情報交換会費含む)

6・問い合わせ

(財)松下視聴覚教育研究財団 電話03-5460-2705
<http://www.mef.or.jp/>

■東京教育工学研究会—第32回教育工学研究セミナー・全国大会

エル・ネット

7月放送予定

各番組は、エル・ネットを利用し、全国1600カ所の受信施設（公民館・図書館・学校・生涯学習センターなど）に放送されている。

エル・ネット「オープンカレッジ」

6頁参照

子ども放送局 第2・4土曜日

■14日「昆虫」

- 10:30 夢スタジオ1030
「昆虫博士と語ろう！」
- 12:00 輝く子どもたち
「藍染めで人間国宝に

なりたい！（東京都豊島区～）」

- 12:30 子どもとしゃかん
「昆虫の本」
- 12:45 THE MAKING
「ハイテク野菜」ができるまで。
- 13:00 研究室におじゃまします
「解剖学」の研究室
- 13:30 チャレンジ教室「ジュニア・ミュージックステージ（1）」歌やダンスステップなど基本を楽しく教える。

■28日「夏休み特別番組：体験」

- 10:30 「自然は友だち わんぱく元気スクール・1部～国立那須甲子少年自然の家～」
福島県国立那須甲子少年自然の家から自然体験学習のおもしろさを生中継。
- 12:00 楽しい水族館

神奈川県「江ノ島水族館」を紹介。

- 12:30 「帰り道～歩いてみよう！子どもの時間」（民間放送教育協会制作「親の目の目」1500回記念スペシャル番組で放送）
- 13:30 「自然は友だち わんぱく元気スクール・2部～国立那須甲子少年自然の家～」

生中継の番組では、質問・意見をファックス、電子メールで募集中！

FAX 03-5790-8154

<http://www.kodomo.nyc.go.jp>

問い合わせ

国立オリンピック記念青少年総合センター 子ども放送局係
電話 03-3467-1600

東京教育工学研究会は、「授業で『評価』をどう構想し、実践するか」をテーマに、8月6日（月）・7日（火）、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北）において下記の要領で標記セミナーを開催する。

1・内容

特別講話「教育界をめぐる新しい動向」樋口雅子氏（明治図書出版取締役編集部長）/基調講話「評価観の転換と授業」古藤泰弘氏（川村学園女子大学教授）/ABC各コースのテーマ＝A「目標に準拠した評価とはなにか」、B「教科指導に評価をどう取り入れるか」、C「総合的な学習に評価をどう取り入れるか」

2・問い合わせ

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133 川村学園女子大学教育学部古藤研究室内セミ

ナー事務局 電話0471-83-9234 <http://www.jces.or.jp>

コンクール情報

■「第39回日本産業映画・ビデオコンクール」入賞作品

（社）日本産業映画協議会主催による標記コンクールの入賞作品が次のように決まった。

日本産業映画・ビデオ大賞「日本の近代土木を築いた人びと」16ミリ、58分、日本映画新社・日映企画

文部科学大臣賞「映像評伝 湯川秀樹 自伝『旅人』より」ビデオ、60分、山陽映画

経済産業大臣賞「棄てるモノは、なにもない。ゼロックスの資源循環型システム」ビデオ、12分、ビービーメディア

経済団体連合会会長賞「復元 淀君乃小袖 四百年の時を超え

て」ビデオ、29分、丸紅

日本産業映画・ビデオ賞「30年のあゆみ」ビデオ、14分、オズミュージック/「進化の軌跡 大倉山ジャンプ競技場」ビデオ、28分、北海道映像記録/「熟茶」ビデオ、9分、ビービーメディア/「職場へ ふたたびの朝 中途障害者の職場復帰のために」ビデオ、38分、東京シネ・ビデオ/「元素誕生の謎にせまる」ビデオ、29分、イメージサイエンス、他3作品が入賞。また奨励賞には28作品が入賞した。

討 報

元理科学精機（株）社長、元日本視聴覚教育協会評議員の福田浩氏は、去る6月4日、急性肺炎のため逝去された。享年85歳。